

### 令和3年度摂津市学力定着度調査の結果について《速報版》

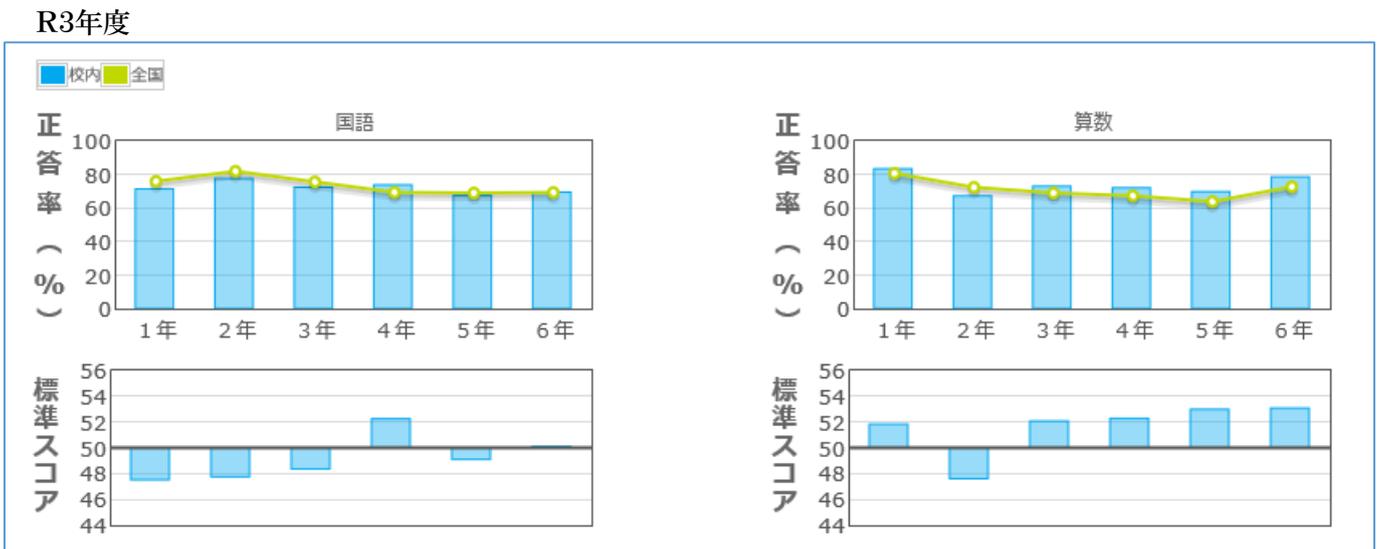
まずペーパーでお配りしますが、大変見にくいところもありますので、鳥飼北小学校ホームページからカラー版をご覧ください。併せて、昨年令和2年度の摂津市学力定着度調査の結果と今年度4月に6年生が受検した全国学力・学習状況調査の結果については11月に配付しましたが、ホームページにも掲載しておりますのでご確認ください。

#### 【令和3年度】「摂津市学力定着度調査」の結果(2022年12月8日実施)

|       | 1年   |      | 2年   |      | 3年   |      | 4年   |      | 5年   |      | 6年   |      |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|       | 国語   | 算数   |
| 鳥北小平均 | 71.4 | 83.4 | 77.6 | 67.2 | 72.4 | 73   | 73.8 | 72   | 67.4 | 69.7 | 69.4 | 78.5 |
| 摂津市平均 | 77   | 83.5 | 78.2 | 68   | 74.4 | 71.2 | 69   | 66.7 | 67.4 | 66.9 | 68.5 | 72.3 |
| 全国平均  | 75.9 | 80.6 | 81.9 | 72.3 | 75.6 | 68.9 | 69.3 | 67.3 | 68.9 | 63.8 | 69.2 | 72.6 |

太枠 **■** は全国の平均を超えた学年・教科です。→国語では、4年生と6年生が全国平均を超えています。  
 算数は、1年、3年、4年、5年、6年と5つの学年で超えました。  
 点線枠 **⋯** は全国は超えなかったけれども摂津市平均を超えたか同一に並んだ学年・教科です。  
 →今回は、5年生の国語が摂津市平均と並んでいます。

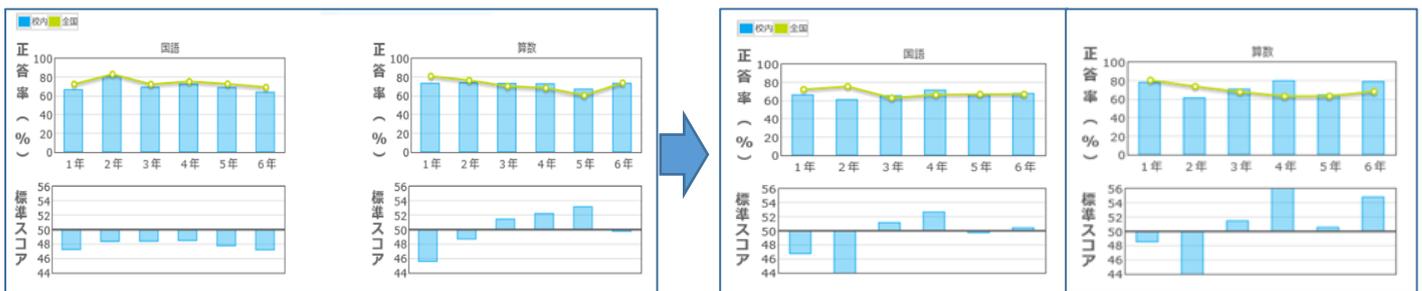
下の「標準スコア」のグラフは、真ん中の50を全国平均とした時の学年別のグラフです。



国語では4年生が、そして6年生も0.2ですが全国を上回っています。算数は2年生以外の学年が上回っています。下の過去2年間のグラフをご覧ください。2年生も昨年の2年(現3年が2年だった時)よりも改善しています。

#### R元年度

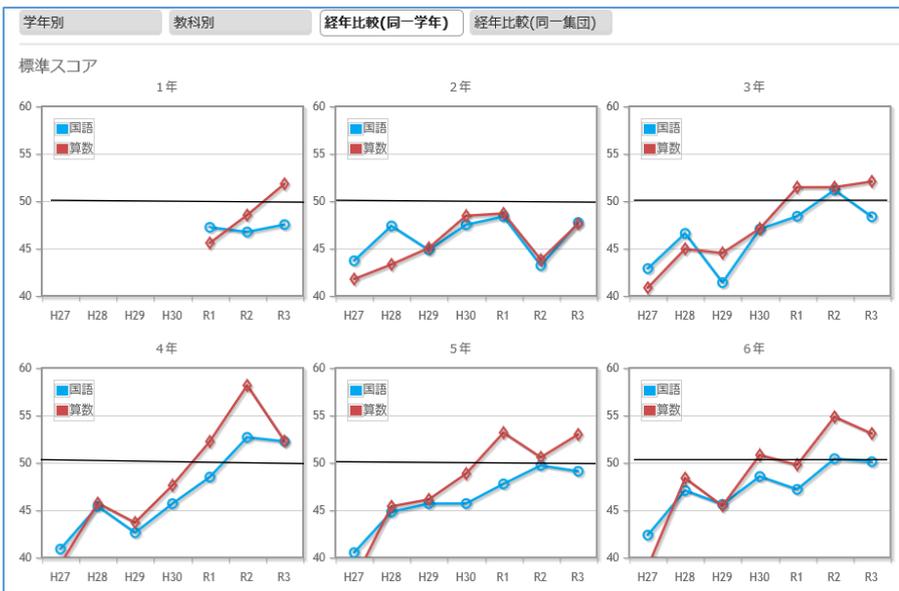
#### R2年度



↑  
国語がすべて下回っている。

↑  
国語で全国平均を上回る学年が出て来ました。  
算数では4年(現5年)、6年(現中1)が大きく伸びています。

◎学年ごとの経年比較(同一学年) 単純にその年々の正答率を並べたグラフです。真ん中の50が全国平均です。

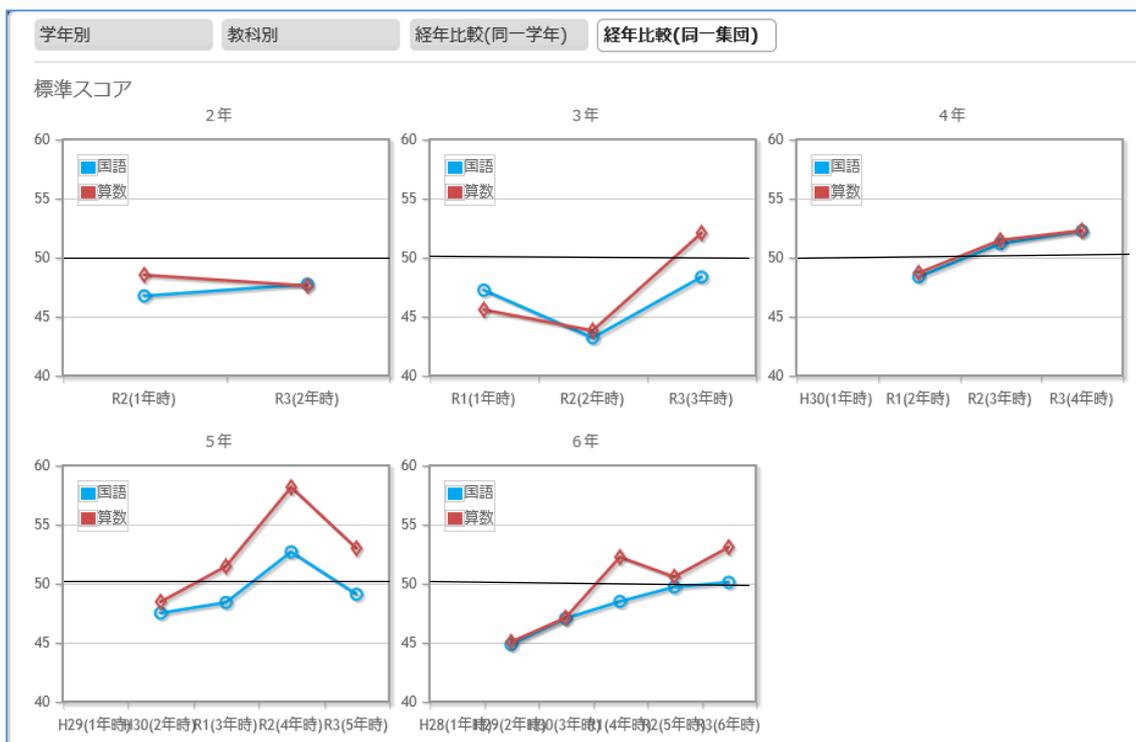


ポイントは、全体的に『右肩上がり傾向』が見て取れるという点です。

- ・今回、2年生は全国比では課題がありました。去年の2年生よりも大きく上回っています。
- ・3年生は、国語が去年の3年生より下がっていますが、去年の自分たちより爆発的に頑張っているのが次のこの下のグラフで分かります。
- ・4年生も大きく下がっているように見えますが、これは去年の4年生が出来過ぎたことによる下降で、4年生自体は大きく伸びているのが、次のグラフで分かります。
- ・6年生は現中1より下がっていますが、あまりこのグラフに意味はありません。

↑ ↑ ↑ ↑ 重要なのは次のグラフの方です。  
今の中3 中2 中1 6年

◎大事なのはこちらです。これは「同一集団」の経年比較を表したグラフです。真ん中の50が全国平均です。「同一集団」とは、例えば6年生が、5年生の時、4年生の時・・・にどうだったかを表しています。



・5年生は昨年出来過ぎたので揺り戻しが来ました。急速に思春期に入ったことや、問題が加速度的に難しくなるなどの要素はありますが、反省すべき点をしっかり分析していかねばなりません。しかし、2年時、3年時からラインを見ると少しずつ向上はしています。6年生の国語もしっかりアップして全国平均の50ラインに掛かりました。

☆一番注目すべき点は、5年生の昨年度比以外、全体的には概ね「右肩上がり傾向」であるという点です。つまりキーワードにしている、『これまでの自分に勝つ!』という目標は概ね達成できたものと考えられます。

・しかし、力を入れてきた「記述式」の正答率が5年・6年で思わしくなかったこと等、課題はたくさんあります。今後、学年で分析を行い、対策を次の学年担当に引き継ぎます。

・現在、昨年度見られた、「テストが終わればまた家庭勉強時間が減る」という課題の克服のために、3学期も学年ごとに「自学大会」を設定したり、「4年 VS 5年力だめしバトル」と称する大阪府教育委員会作成の「力だめしテスト」を同時に行う企画を立てる等、今後も歪みを生まないように明るく前向きに子どもたちの学力向上に努めてまいります。